

II 千葉県水道局環境方針

当局の環境への基本的な取り組み姿勢を示しています。(平成18年3月策定)

1 基本理念

千葉県水道局では、安全で良質な水道水を安定的に給水しているところですが、その過程で電気などの多くのエネルギーを消費するなど、当局の事業活動は、地球環境に対して大きなかわりを持っています。

当局は、地球温暖化問題や循環型社会の構築などの人類共通の課題に対応するため、環境に配慮した水道事業運営を実践し環境負荷の低減を図り、豊かな地球環境を将来の世代に引き継いでいく努力をしていきます。

2 基本方針

(1) 事業活動における環境負荷の低減

日常活動をはじめとする事業活動において、効率的な業務運営を行い、安定給水の確保に努めながら、さらに一層の省エネルギーの推進、省資源の推進、廃棄物の削減に努めます。

(2) 地球温暖化問題への対応

クリーンエネルギーの導入などに積極的に取り組み、地球温暖化の原因である温室効果ガスの削減に努めます。

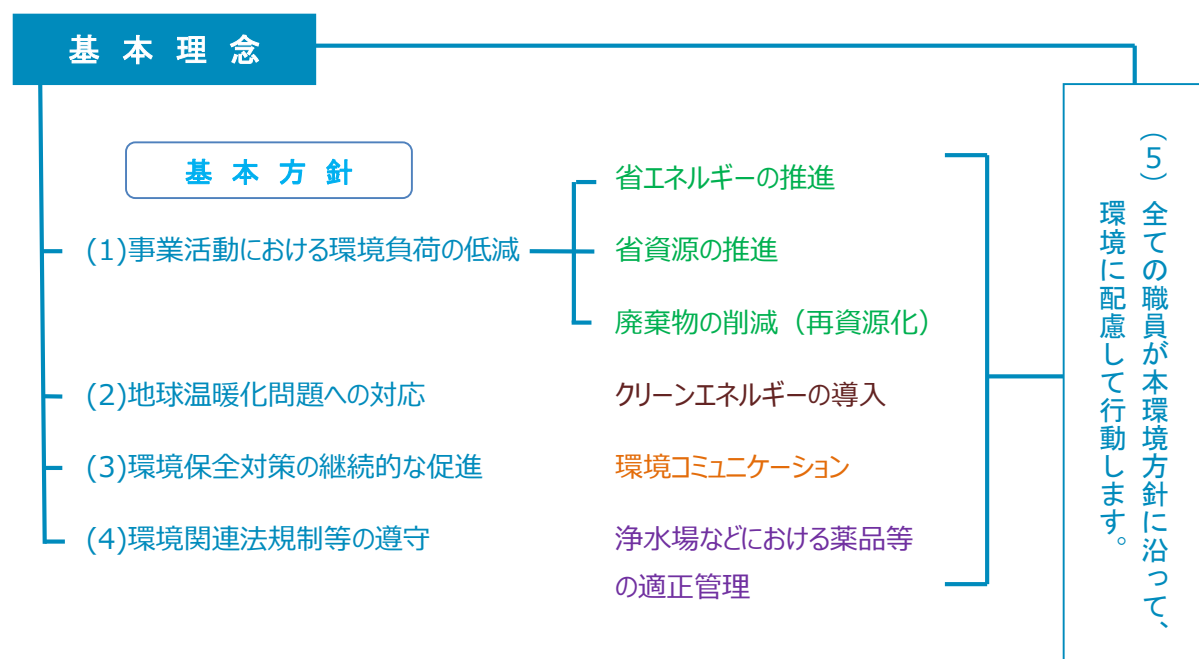
(3) 環境保全対策の継続的な促進

環境保全に係る目標を指標等で定め、定期的に見直し、環境保全の継続的な改善に努めます。

(4) 環境関連法規制等の遵守

事業活動に適用される環境関連法規制等を遵守し、環境汚染の未然防止に努めます。

(5) 全ての職員が本環境方針に沿って、環境に配慮して行動します。



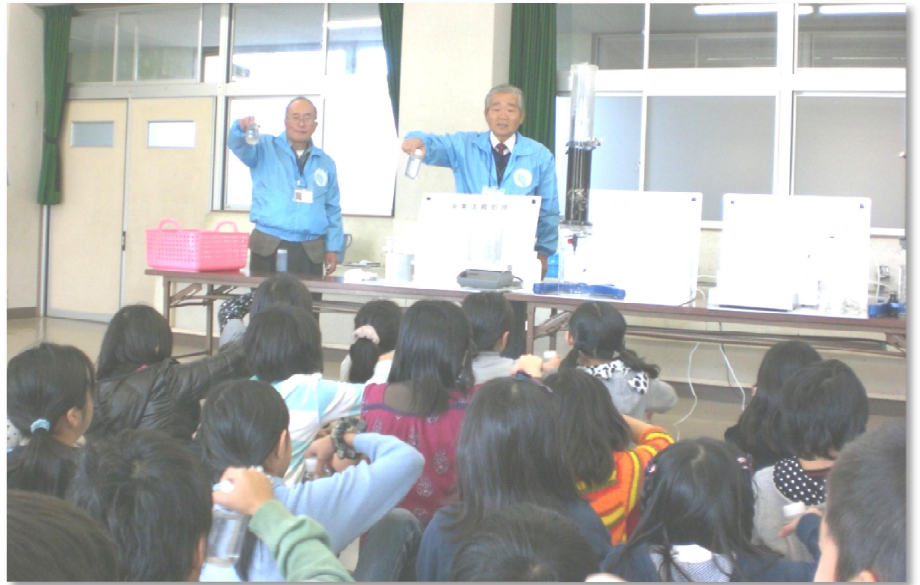
環境保全への取り組みの一例

環境コミュニケーション

水道出前講座

紙芝居・実験・体験などとおして水道の仕組み、水道局の安全でおいしい水づくりへの取り組み、水の大切さ、水道水を飲める文化の大切さを知っていただくことで、環境コミュニケーションを図っています。

本講座は給水区域のお客様を対象にご指定された場所に出向いて開催しています。



川や沼の水から水道水ができるまでの実験を体験していただいているところです。

水道局の歴史的建造物

千葉高架水槽は、登録有形文化財^{※1}として登録されています。また、同高架水槽と千葉分場1号配水池、栗山配水塔は、土木学会選奨土木遺産^{※2}に認定されています。



千葉高架水槽

(千葉市中央区矢作町)

千葉県営水道創設期の昭和12年2月に建設されました。多角形(正12角形)構造,バルコニー下部のコーニス^{※3}風の装飾が特徴です。

栗山配水塔

(松戸市栗山浄水場)

昭和12年3月に建設されました。ドーム状塔屋,頭頂部に4本柱の換気口をもち、現在も現役で配水を担っています。



1号配水池

(千葉市中央区矢作町)

千葉県営水道創設当時に建設された、珍しい円形配水池です。正面階段部分や上部の水位観測施設に意匠を施すなど工夫したデザインとなっています。



- ※1 歴史的な価値を持ちながら、都市開発や生活様式の変化などで消失の危機にある多くの建造物を保護し、活用しながら後世に継承していくことを目的とした制度です。
- ※2 歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、社団法人土木学会が平成12年度に創設した制度です。
- ※3 洋風建築の軒・壁の頂部、階と階の区切りなどを取り巻く帯状の装飾のことです。